



や ま ざ き

ゆ き

山崎 由貴

▶ジャンル

ユーフォニアム

▶所属マネジメント

株式会社パシフィック・コンサート・マネジメント

〒104-0043

東京都中央区湊3-10-11 第2山内ビル5F

TEL : 03-3552-3831 FAX : 03-3553-4800

担当マネージャー：

古澤昌晃 furusawa@pacific-concert.co.jp

▶アーティスト在住地

東京都板橋区

▶アーティスト出身地

静岡県浜松市

プロフィール

静岡県浜松市出身。4歳よりピアノをはじめ、10歳で小学校の金管バンド部でユーフォニアムと出会う。中学校では吹奏楽部に所属し、ソロ・コンテスト全国大会で金賞を受賞。これをきっかけにユーフォニアム奏者を志す。

浜松海の星高等学校へ進学し、全日本吹奏楽コンクールにも出場する。

日本におけるユーフォニアム演奏の第一人者、露木薫氏に深く憧れ、同氏が教授を務める名古屋音楽大学へ進学する。在学中、学生ソロ・コンクールで優勝するなどの実績を重ね、首席で卒業。卒業時にはすべての新人演奏会に推薦され、第87回読売新人演奏会、第39回読売中部新人演奏会、第17回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。さらに、露木薫教授のもとで研鑽を積むため、東京藝術大学別科へ進学し、修了。

2018年、2020年、2022年には韓国・済州島で開催されたチェジュ国際金管打楽器コンクール・ユーフォニアム部門において、3大会連続で第3位を受賞し、国際的にも注目を集める。

2023年、第38回日本管打楽器コンクール・ユーフォニアム部門で第1位を獲得。さらに、全開催部門の1位受賞者が競う大賞演奏会において、ユーフォニアム奏者と

して史上2人目、31年ぶりとなる特別大賞、内閣総理大臣賞を受賞。文部科学大臣賞、東京都知事賞を併せて受賞し、大きな話題を呼んだ。

ソリストとして吹奏楽団と共演するほか、リサイタル活動を精力的に展開。また、オーケストラの客演奏者としても活躍の場を広げている。NHK-FM「リサイタル・パッショ」にも出演。

また教育活動にも力を注ぎ、静岡県立沼津西高等学校音楽科および蒼羽藝術高等専修学校芸術科で非常勤講師を務めるほか、一般財団法人地域創造/公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストとして、地方での音楽普及活動にも積極的に取り組んでいる。

また、Euphonium Quintet「狛狼座（こまいぬざ）」およびユーフォニアム・チューバ・アンサンブル「Ueno Bass Clef」のメンバーとして、同族楽器でのアンサンブルの可能性も追求し、ユーフォニアムの魅力を広く発信している。

ユーフォニアムのさらなる可能性を探求し、その音色と表現を通じて、多くの聴衆に感動を届けることを目指している。

SNS (x) <https://x.com/yukiria08>

自己アピール

ユーフォニアムが好き！！この楽器は、私の人生そのものです。嬉しい時も、悩んだ時も、いつもそばにあり、その温かく包み込むような音色が私を支えてくれました。ユーフォニアムは、ギリシャ語の“Euphonos”（良い響き）を語源とし、人の心にそっと寄り添い、深い感動をもたらす特別な楽器です。

これまで国内外のコンクールや多くのステージで演奏し、技術と表現力を磨いてきました。ときには壁にぶつかり、悩むこともありましたが、そのたびにユーフォニアムの響きが私を導き、新たな挑戦へと背中を押してくれました。

2023年、大きな賞を受賞したことをきっかけに、「ユーフォニアムを通じて私に何ができるのか」を改めて考えるようになりました。これまでは、音楽を通して多くの方々に支えられ、たくさんものを受け取ってきました。これからは、私自身が音楽の力で人と人をつなぎ、心に寄り添う存在になりたいと強く願っています。

ユーフォニアムは、決して知名度の高い楽器ではありません。しかし、それゆえに、まだ誰も気づいていない魅力や可能性が無限に広がっています。「こんな美しい音色があるなんて」「心が温かくなった」「また聴きたい」——そんな言葉をいただくたびに、ユーフォニアムの持つ力を改めて実感します。その響きを通じて、人と人とのつながりを深め、心が震えるような瞬間を届けたい。そう思いながら、一音一音を大切に奏でています。

音楽には、言葉を超えて心を動かす力があります。演奏を聴いた方が、ふと懐かしい思い出を思い出したり、言葉にならない感情があふれたりする。そんな特別な時間を生み出せる演奏を目指し、ユーフォニアムとともに全国各地にお邪魔できればと思っています。

地域の皆さんや子どもたちと、ユーフォニアムの響きを通じて心が通い合う瞬間を共有できることを、心から楽しみにしています！

この事業でできること、挑戦してみたいこと

ユーフォニアムの響きには、人の心を惹きつける力があります。私自身、この楽器に出会ったことで世界が広がり、音楽の楽しさを知ることができました。おんかつの活動を通じて、その魅力を伝えながら、地域の皆さんとともに「今できる最大限のこと」を考え、実現していきたいと思っています。

まず大切にしたいのは、地域の方々と意見を出し合いながら、その土地ならではの特別な企画を作り上げることです。たとえば、地元の伝統芸能や自然環境と音楽を結びつけることで、新たな文化の発見につながるかもしれません。異なるジャンルの方々とのコラボレーションにも挑戦し、音楽の可能性を広げていきたいです。

また、演奏をただ聴くだけでなく、五感で楽しむ体験型のプログラムも取り入れたいと考えています。実地研修では、コピー用紙2枚を使って唇の振動を感じるワークショップを行い、楽器を吹く感覚を体験してもらいました。最初はうつむいていた子が、最後には積極的に手を上げ感想を発表して

くれた姿に、とても心動かされました。

ユーフォニアムは、歌うようなやわらかい音色が特徴の楽器ですが、超絶技巧もこなせる“スーパー楽器”でもあります。その魅力をより多くの人に知ってもらうため、生演奏の場を大切にしていきたいです。最近では配信サービスの発展により、どこでも音楽を聴けるようになりましたが、私は演奏者と観客が同じ空間で時間を共有することで生まれる臨場感やエネルギーを何よりも大切にしたいと考えています。

また、ホールに足を運ぶことが難しい方々にも、生の音楽を届けたいと思っています。訪問演奏や、地域の子どもたちと一緒に作る参加型のコンサートなど、一人ひとりに寄り添った活動を通して、音楽を身近に感じてもらいたいです。

ユーフォニアムの魅力は未知数です。この楽器だからこそできること、そして「今」だからこそ生まれる音楽の可能性を、地域の皆さんとともに探し、形にしていきたいと思っています。

演奏可能プログラム

- ・ E.エルガー／愛の挨拶
- ・ M.モノー／愛の讃歌
- ・ P.スパーク／パントマイム
- ・ P.スパーク／イナ之歌
- ・ P.スパーク／ユーフォニアム協奏曲第1番
- ・ G.リチャーズ／ミッドナイト・ユーフォニアム
- ・ G.フォーレ／夢のあとに
- ・ P.グラハム／ホーリーウェル
- ・ ナポリ／ナポリ民謡（フニクリフニクラ）による変奏曲
- ・ 伊藤康英／3つのロマンス
- ・ M.ケンツビッチ／ユーフォニアム協奏曲「皇帝」
- ・ 村松崇継／いのちのうた
- ・ J.フンメル／幻想曲
- ・ F.ブリッジ／4つの小品

ほか